

## 県大会決勝戦 戦 評 用 紙

(記録抄用)

<b>大会名</b>	平成 30 年度三重県高等学校総合体育大会バレーボール競技 兼東海高等学校総合体育大会三重県予選大会 兼全国高等学校総合体育大会三重県予選大会 (6人制 男子)	<b>参加数</b>	<b>41</b>	
<b>期 日</b>	平成30年 5月 25～27日	<b>会 場</b>	25日 桑名工業高校 桑名北高校 26日 桑名工業高校 桑名北高校 27日 津市芸濃町総合文化センター内体育館	
<b>戦 績</b>	1位	松阪工業高等学校	3位	津工業高等学校
	2位	皇學館高等学校	4位	海星高等学校

### 戦 評

	A 松阪工業	B 皇學館	C 海星	D 津工業	勝 敗	順位
A 松阪工業		〇〇	〇〇	〇〇	3勝0敗	1
B 皇學館	××		×〇〇	〇×〇	2勝1敗	2
C 海星	××	〇××		×〇×	0勝3敗	4
D 津工業	××	×〇×	〇×〇		1勝2敗	3

決勝リーグは、松阪工業・皇學館・津工業・海星の4チームで行われた。事実上の決勝戦となったのは、2勝同士で迎え、春季大会の決勝と同じ組み合わせの松阪工業と皇學館の試合である。

第1セット、序盤は取って取られてのシーソーゲーム。14-14と中盤まで緊迫したゲーム展開となった。ここから相手のミスをつかき、皇學館のエース②番を松阪工業⑥番がブロック、これに続けと⑤番のスパイクで松阪工業の5連続得点と引き離す。さらに松阪工業⑤番・④番のスパイクで差を広げ、このセットを制した。

第2セットは序盤から皇學館が②番・④番の攻撃で5連続得点とリードするが、10-11まで松阪工業がジリジリと詰め寄る。ここから⑤番のスパイクや相手のミスで5連続得点し、一気に逆転する。皇學館は焦りからミスが続き、松阪工業に4連続得点を許してしまう。終盤はお互いに譲らない一進一退のサイドアウトを繰り返すが、逆転を許さず25-18で松阪工業が逃げ切った。

春季大会ではフルセットの試合となったが、今大会は松阪工業が皇學館にストレートで勝利した。今年は本県での全国大会となるので、その切符を手にした両校には、開催県として全国高校総体のさらなる活躍を期待したい。



戦評者名 ( 高体連強化委員 阪本 智典 )

- |           |  |
|-----------|--|
| <b>備考</b> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種別、男女毎に戦評をする。</li> <li>2. 戦評は250字程度でまとめる。</li> <li>3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。</li> </ol> |
|-----------|--|

県大会決勝戦 戦 評 用 紙 (記録抄用)

大会名	平成30年度三重県高校総体		男 ⑥ 女 9	参加数	47チーム
期 日	平成30年5月25日 5月26日 5月27日	会 場	安濃中央公園内体育館 鈴鹿スポーツガーデン 芸濃町体育館		
戦 績	1位	津商業高等学校	3位	四日市商業高等学校	
	2位	三重高等学校	4位	津田学園高等学校	
戦 評					
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">津商業高校</div> <div style="font-size: 3em; margin: 0 20px;">{</div> <div style="text-align: center;">25-22 25-16</div> <div style="font-size: 3em; margin: 0 20px;">}</div> <div style="text-align: center;">三重高校</div> </div> <p style="text-align: center;">R(森西 基雄)・U(並木 智香)</p> <p>平成30年度三重インターハイの出場二枠をかけ、ベスト4リーグを行った。注目は、新人戦・春季大会では2位以下に力の差を見せつけ優勝した三重高校。次に、高さのある選手を多く揃え、攻撃力のある津商業高校。残りの2チームは、県内大会において優勝こそ逃しているがレシーブ力があり、粘り強い四日市商業高校と、高身長 of 選手を揃えた津田学園高校も十分にインターハイ出場を狙えるチームである。</p> <p>3日間で行われる三重県高校総体は、2日目にベスト4リーグの1試合を行い、3日目に残りの2試合を行う。大会2日目、三重高校は津田学園高校と、津商業高校は四日市商業高校と対戦し、ともにセットカウント2対0で勝利した。三重高校は四日市商業高校、津商業高校は津田学園高校と対戦し、セットカウント2対0で勝利した。</p> <p>優勝候補の三重高校と津商業高校はリーグ戦2勝を挙げ、ほぼインターハイ出場を手中に収めた。とはいえ、一位通過を狙う両チームにとっては負けられない一戦となった。</p> <p>結果は終始ブロックがさえ渡った津商業高校がセットカウント2対0で勝利し、3勝0敗でインターハイ予選1位通過を決めた。三重高校は2勝1敗で2位通過となった。</p> <p>インターハイに出場する両チームには、三重県代表チームとしての誇りを持って戦ってほしい。 (梶野 道宏)</p>					
備考	1. 各種別、男女毎に戦評をする。 2. 戦評は250字程度でまとめる。 3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。				